

## 令和 6 年度 防災対策主要事業について

## 1 防災体制整備事業

## (1) 総合防災情報システムの導入

災害時の気象や河川などの最新情報を効率的に収集、一元的に管理し、避難指示等の情報を多様な広報媒体へ一斉に配信できる総合的な情報管理システムを整備する。

併せて、災害関連情報を市のホームページ上でまとめて提供する防災ポータルサイトを構築する。

## (2) 災害危険箇所WEBカメラの整備

令和 5 年台風 13 号に伴う豪雨により溢水被害のあった中小河川などに監視カメラを設置し、リアルタイムの映像を災害対策本部で確認できるようにするとともに、同映像をWEB上に公開する。

## (3) 防災行政無線サポートセンター運営

防災行政無線の戸別受信機に関する専用の電話相談窓口を設け、操作説明のほか、受信状況を確認した上で、必要に応じて受信環境改善対策工事の案内等を行う。

## (4) 土のうステーションの整備

集中豪雨や台風に備え、市民が自宅等の浸水対策のため、必要に応じていつでも土のうを持ち出せる「土のうステーション」を整備する。

※設置箇所 各支所など市内 15 か所

## 2 自主防災組織育成事業（災害対応力強化補助）

令和 5 年台風 13 号災害対応を踏まえ、各コミュニティが主体となり、地域が把握する大雨による道路の冠水箇所などのハザード情報を掲載した地域独自の「災害対策マップ」の作成を推進し、地域の災害対応力の強化を図る。

※補助金交付先 コミュニティ 23 単会

## 3 避難所等環境整備事業

## (1) 防災備蓄倉庫搬入路補修工事

令和 5 年度に実施した防災備蓄倉庫実態調査の結果と自主防災組織からの意見等を考慮し、物資の搬送に支障がある搬入路補修工事を行う。

※補修箇所 20 か所（小学校 9 か所、中学校 5 か所、交流センター 2 か所等）

## (2) スポットクーラーの整備

避難所における熱中症対策の一助として、移動式で冷風を送るスポットクーラーを各避難所へ整備する。なお、平常時には、学校授業や避難所訓練等での利用を想定する。

※配置先 小学校等 23 か所、各 2 台

以 上